

# EXHIBITION OF REIJI HIRAMATSU



路——「この道」を唱いながら 1989（平成元） 第10回 山種美術館賞大賞受賞作

## 市制40周年記念—— 平松礼二展

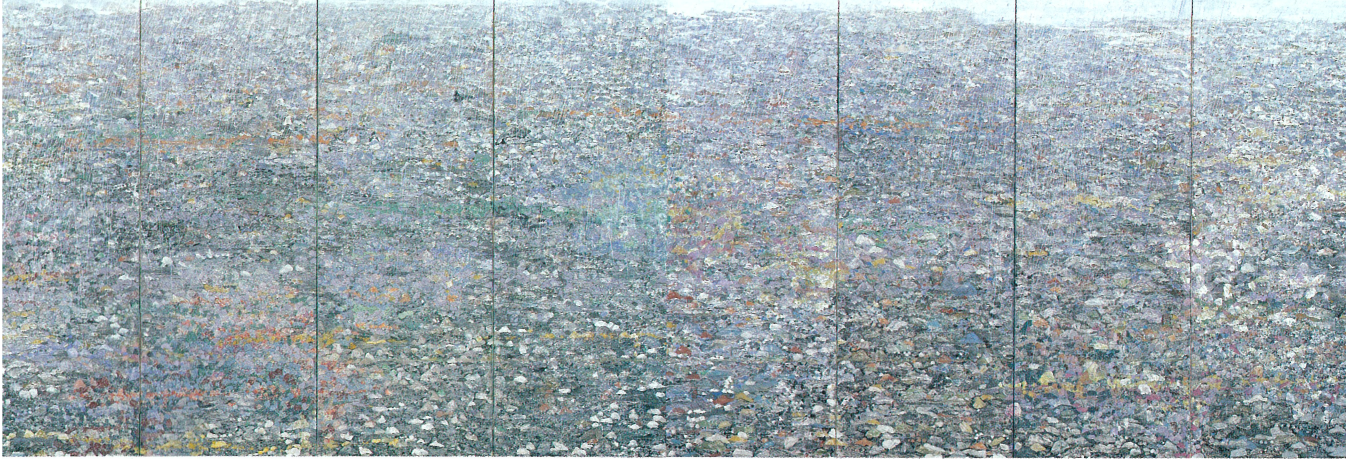
7月18日(水) — 8月5日(日)

開館時間 AM9:00~PM4:30 初日AM10:00 休館日 7/23(日)・7/30(日)

主催 刈谷市・刈谷市教育委員会 後援 愛知県教育委員会・中日新聞社 入場無料

愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地 TEL(0566)23-1636 JR東海、名鉄「刈谷駅」南口下車徒歩7分

刈谷市美術館



路——九月の雨 1986 (昭和61)

市制40周年記念

いつかきたみち——路

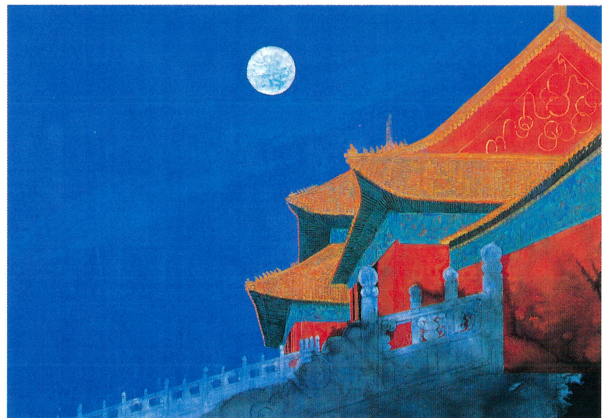
# 平松礼二展



路——冬日 1978 (昭和53) 第1回 中日展大賞受賞作



路——唐くにの朱い山 1987 (昭和62)



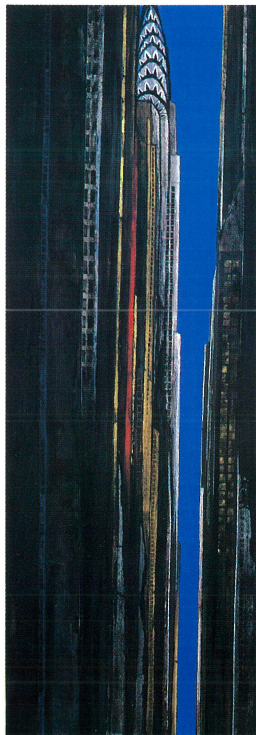
月光故宮 1989 (平成元)

現在、過去、未来、自らの、そして、さまざまな人生・くらしが刻まれた「路」。これを描きつづける平松礼二氏初の本格的な展覧会を開催します。

平松氏は、昭和16年(1941)東京に生まれ、昭和33年(1958)愛知県立旭丘高等学校美術課程に入学。川端龍子率いる青龍社の青龍展に出品を始めます。昭和39年(1964)愛知大学を卒業。昭和41年(1966)川端の死により、青龍社は解散。発表の場を個展へと移します。その後、創画展に出品を重ね、昭和52年(1977)創画会賞を受賞。昭和54年(1979)、翌55年(1980)第1回中日展にて大賞、第2回東京セントラル美術館日本画大賞優秀賞と連続して受賞。昭和63年(1988)、平成元年(1989)には、第1回MOA岡田茂吉賞優秀賞、第10回山種美術館大賞を受賞、高い評価を得ます。また、昭和59年(1984)、若手日本画家らとともに、その会派をこえて日本画の今後を研究する場として「横の会」を結成。その中心的存在として活躍しています。

「路」シリーズは、異国の厳冬の風景からはじまります。そこに自らの心の空虚を表現しました。この時代は、現世と来世を行き来するような陰のある画面を展開します。40代に入り、木曾 美濃の山中の静かな路を求めます。その後、木曾谷を走る木と水の路を下りはじめます。どの画面にも日本の四季の美しい移り変わりが描き込まれています。懐かしみをかき立ててくれる風景画が、素朴さと現実感をもちあわせ、繰り広げられます。路は自然と中国へ向きます。「路」をテーマにあらゆる角度から挑戦を試み、獨創性をさらに強めています。

本展は、最新作「NEW YORK-WEST SIDE」を含む代表作約70点による、平松氏の詩情豊かな世界を紹介します。



NEW YORK-42ND STREET 1990 (平成2)



路——いつか歩いた峠みち 1989 (平成元)

